

【児童通所支援事業所 さくらんぼ：児童発達支援 自己評価 集計結果】

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	12		
	2	職員の配置数は適切であるか	11	1	・適正数の職員はいるが、長期休暇等になると足りないと感じることがある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	1	・どうしても死角になる場所があり、職員が意識して子供達が必ず視界に入る場所に移動している。 ・基本となる活動のスペースは確保され、構造化されている。
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	1	・清掃業者が入り、定時に清掃を行っている。また、手に触れる所やおもちゃ等は職員が消毒作業を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	9	3	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12		・年に1回アンケートを実施している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12		・ホームページで公開されている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	12		・ISO外部監査を受審している。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12		・それぞれの能力に合わせた研修に参加し、スタッフミーティング等でフィードバックを行っている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	12		
	11	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11	1	・事業所独自のアセスメントシートを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	12		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11	1	・月毎に担当を決めて行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	1	・だいたいの活動、行事は固定化しているが、前年度の反省等を生かして、子供達が取り組みやすい活動内容になるよう工夫している。 ・プログラムは決まっているが、内容は固定されないよう工夫している。
	16	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	12		・小集団でのお集まりや戸外活動を実施したり、個別での療育を行っている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12		・朝礼にて周知している。
	18	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	12		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	12			
21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12		・管理者、担当が参加している。	
22	母子保健や子供・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10	2		

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			(R1 4月より看護師配置に伴い、本格的な医療的ケア児の受入れを開始する)
	24	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供等を支援している場合) 子供の主治医や協力医療機関等の連絡体制を整えているか			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12		・随時情報共有会議を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	1	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障がいのない子供と活動する機会があるか	8	4	
	29	(自立支援) 協議会の子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	9	3	・児童発達支援連絡協議会、放課後等デイサービス連絡協議会に定期的に参加している。
	30	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解をもっているか	12		・連絡帳やお迎え時に伝え合い、共有している。 ・お迎え時や面談時など児童の状況を伝え合い、必要なことは職員間で情報共有している。
	31	保護者に対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	11	1	・職員が研修を受けている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12		・契約時に説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	12		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談を適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12		・面談や日々の送迎時、連絡帳にて話す機会を作っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	12		・今年度は開催回数が少なかったため、次年度は回数を増やして開催する予定。
	36	子供や保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	12		・広報誌やホームページ、事業所カレンダーで周知している。
	38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	11	1	
	39	障がいのある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9	3	・利用児者とその家族、地域住民が参加できる市民公開講座や介護フェス、秋まつり等を開催している。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	12		・ISOを基本に、施設全体で策定している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12		・月に1回訓練を実施し、年2回総合防災訓練を実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん等の子供の状況を確認しているか	12		・利用前の実態調査で、服薬について確認し、処方箋の写しを提出していただいている。また、てんかん等発作を伴う場合には、その際の対応方法や緊急時の連絡先、搬送病院の聞き取りを行っている。
	44	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	11	1	・おやつ作りの際は、アレルギーのあるなしに関わらずメニューを伝え、参加の有無を保護者に確認している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12		・施設全体でヒヤリハット、事故の内容、対応策を共有し、事故防止に努めている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12		・虐待防止委員会があり、勉強会に参加し防止に努めている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し、理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	12		・該当する児童については、説明をしっかりと行い、同意をいただき写しを交付している。 ・契約時にどのような場合、場面が拘束とみなされ、同意をいただくことになるのかを全ての保護者に説明している。